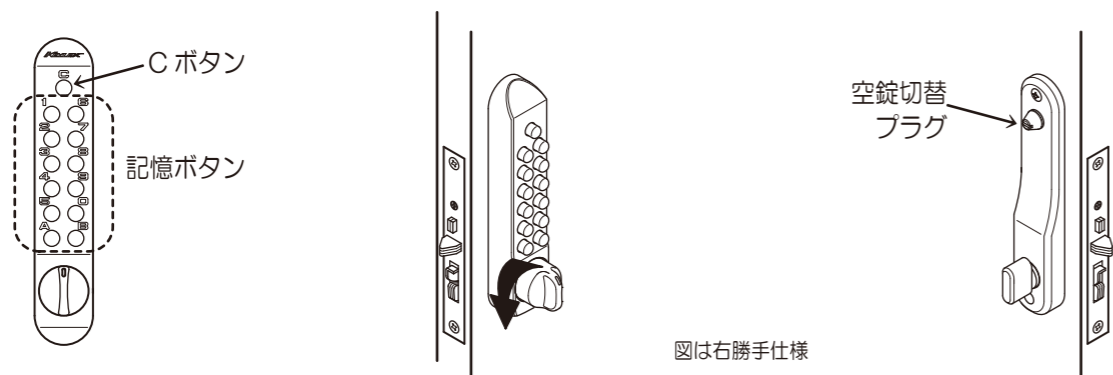


自動施錠から空錠への切替方法

扉を閉めても、施錠しない状態【空錠】にできます。

- ① C ボタンを押し、記憶ボタンを押す。
- ② 室外側のロックターンを解錠操作（矢印の方向）にしたままにする。
- ③ 室内側の空錠切替プラグを【Auto Lock】から【Free】にコイン等で回し、切り替える。



【空錠】から【自動施錠】へは、ロックターンを解錠方向に回したまま、室内側の空錠切替プラグを【Free】から【Auto Lock】へ切り替えます。

記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドラッチ、テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

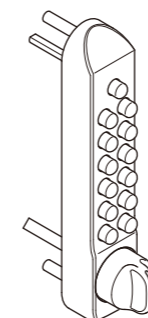
KEYLEX[®] 500

72750622

KL500
MIWA (SL80)
シリンダー取替

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22271

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈 記 憶 番 号 の 記 録 〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

NAGA
SAWA

株式会社 長 沢 製 作 所

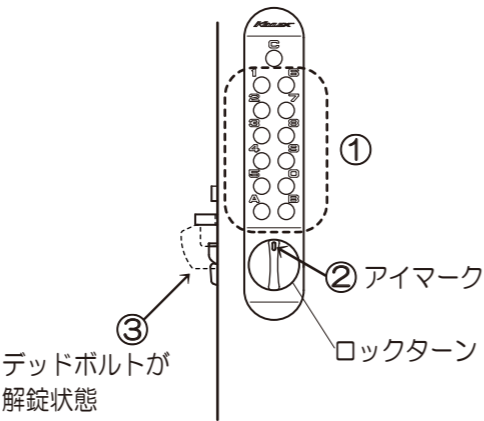
東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが真上にある
- ③ デッドボルトが解錠状態になっている



※ 図は左勝手仕様です

室内側

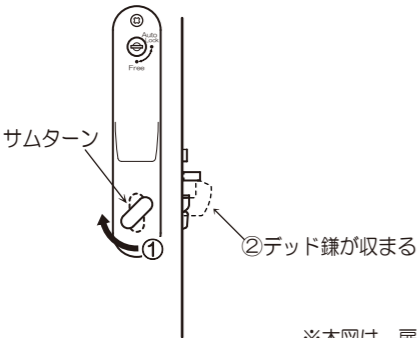
室外側

施錠

扉を閉めれば施錠されます

解錠

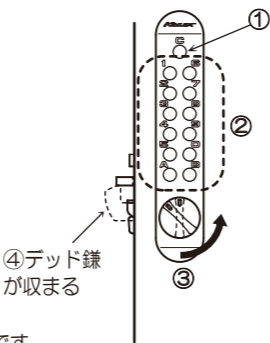
- ① サムターンを回します
- ② デッド鎌が収まることを確認します



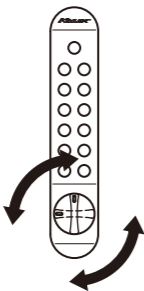
※本図は、扉が左勝手時です。右勝手時は対称です。

解錠

- ① C ボタンを押す：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを回します
- ④ デッド鎌が収まることを確認します



ロックターンが横向きになっていても故障ではありません。
ロックターンを正常な位置（アイマークは上向き）に戻してご使用ください。

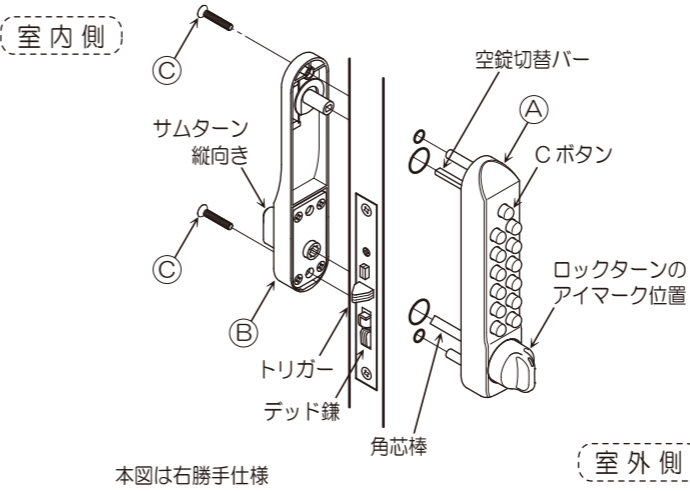


キーレックスは、ロックターン部に過大な力がかかると、内部機構を守る為に
ロックターン部が空回り（安全装置が作動）するように設計されています。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

72750622

- 【 1 】 キーレックス本体を取り外します 取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



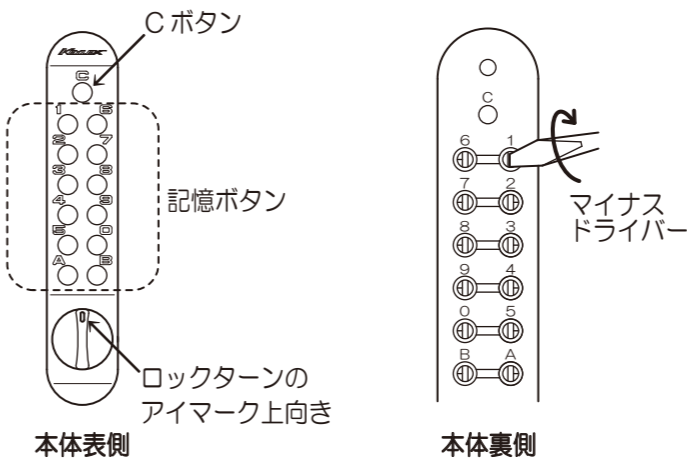
本図は右勝手仕様

- I : ① キーレックス本体の落下に注意しながら
② 本体固定ねじ 2 本をはずし、③ 室内座をはずします。
- II : ① キーレックス本体をはずします。

- 【 2 】 記憶番号の設定変更をします

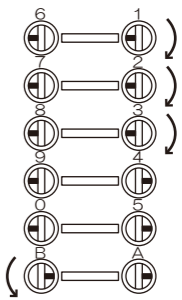
- ① ロックターンのアイマークを上向き（下図の位置）に固定します。
本体裏側の **C ボタン** を押します。
⑤ まで、記憶ボタンは押さないでください。
- ② 本体を裏側にし、記憶されている
ロックピンを回転させ
（ロックピンの横溝を外側にする）
すべてをクリアします。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する
場合があります。必ず押してください。



- ③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。
本紙裏面に記入欄があります。
- ④ 新しい記憶番号のロックピン横溝を
中央部の横溝にあわせませう。

例：B 1 2 3



- ⑤ 新しい記憶番号を押し、ロックターンが
確実に作動することを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

- 【 3 】 本体を取り付けます 【 1 】 と逆の順番で取り付けます。

- ① キーレックス本体を取り付ける時は、
扉の勝手と角芯棒の向きに注意します（右図参照）。
間違って取り付けると、施解錠操作ができません。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号と
角芯棒の取り付け向きを確認してください。

